

新潟県妙高市、上越市の視察について

～創意工夫で地域活性化～

2 月 13 日（土）、14 日（日）、仙谷国家戦略担当大臣は、新潟県妙高市、上越市を訪問した。妙高市では知的障害者の自立支援を行なっている県立「にしき園」を訪問し、同施設で創作活動が続けている「はり絵」作家の岡田清和さんに面会した。同氏はこれまでに 280 点あまりの作品を制作、大臣室にも同氏の作品 2 点が飾ってある。仙谷大臣は「岡田さんの色彩や色使いは、人を和ませてくれます。心のありよう、受け止める感性がすばらしい。毎日、癒されて執務できています」と岡田さんを激励した。

続いて無農薬、ミスト栽培の大葉やハーブのハウス栽培を行なっている株式会社 妙高ガーデン（社長：山下光明氏）を訪問した。妙高ガーデンでは、冬の豪雪の中でも栽培が行える環境を整備しており、温度、湿度、風を自動調節で管理している。同社は市場ニーズに合致した商品づくりで優良顧客を開拓しており、新たな農業のあり方について考えることができた。

また上越市では、雪国情緒豊かな町並みを視察の後、ウエタックス株式会社（社長：植木正孝氏）を訪問した。同社は優れた技術力で、水中スピーカークの日本シェア 1 位を誇る。音波の振動を利用して、アンプを通さずに壁や床などをスピーカーにする技術などを視察した。独自の技術に対して海外からの発注も多い。研究環境に優れた地方の利点を活かし、技術を磨く中小企業も日本には多数あり、その可能性がうかがわれた。

その後、創設 30 年を迎えた農事組合法人 大潟ナショナルカントリー（代表：竹田香苗氏）を訪問した。同組合法人は米の生産に始まり、現在は野菜のハウス栽培も手掛けているが、臨時雇用は年間延べ 1700 人。定年後の銀行支店長から農業経験の無い若者まで、農業に関心を持つ人々が集まって働いている。「農産品を売るためには、安心・安全は当たり前、更にもう 1 つ工夫がいる」とのこと。農業の成長には生産者の熱意と、創意工夫、地域での協力などが重要であると感じた。

今後こうした地域視察を通じて、現場の生の声をお聞きし、成長戦略など各種政策の参考にしていきたい。

	
はり絵作家の岡田清和さんを激励	(株) 妙高ガーデン視察
	
ウエタックス (株) 視察	農事組合法人大潟ナショナルカントリー視察

【現地日程】

2月13日 (土)

知的障害者更正施設「にしき園」視察

妙高市役所にて「はり絵」作家の岡田清和さんを激励

2月14日 (日)

株式会社 妙高ガーデン視察

高田地区・雁木通り視察

ウエタックス株式会社視察

農事組合法人 大潟ナショナルカントリー視察

以 上